



発行：がん診療推進委員会

発行元：がん診療支援室

がん診療支援室ってどんなところ…？



がん診療支援室（がん相談窓口）は、2号館1階の医療社会事業部の一角にあります。

メンバーは、室長の塩見副院長、看護師2名、ソーシャルワーカー1名、主事1名がいます。

当院は滋賀県が指定しているがん診療連携支援病院に指定されています。がん対策基本法のもと、滋賀県がん対策推進計画がたてられており、その目標を達成するために、がん診療や療養のサポート、滋賀県や拠点病院との連携などを行っています。

主な業務内容として、

- 地域がん連携クリティカルパスの運用
- がん治療・療養上のサポート
- キャンサーボード開催支援・院内のがん関連研修会の実施
- 病状説明時の精神的サポート
- 終末期の医療・福祉に関する連携支援
- 院内緩和ケア体制充実のサポート

など幅広くがん患者様に関わっています。

また、がん相談窓口では、がんに関する疑問や悩みごと等に対して、話を聴き、思いに寄り添い、その人らしい生活や治療選択ができるよう支援しています。

がん相談の予約を入れていただくと、面談室の予約をお取りしてプライバシーが保たれた部屋で話をお聴きします。ここにはがん患者様やご家族向けの貸し出し図書がありますし、ネット検索できるパソコンもありますので、ぜひご紹介下さい。

そのほかにもピンクリボン湖北やリレーフォーライフなど院外で開催される様々ながんのイベントに積極的に参加し、がん検診を啓発する等の活動を行っています。

がん診療支援室は湖北地域のがん患者様とご家族様を各時期とぎれることなくサポートします。

がんに関することでお困りの際にはいつでもご連絡ください。

がん相談窓口：(0749) 68-3389 がん診療支援室：7035



◎ 新メンバーのごあいさつ ◎

5月からがん診療支援室に配属となりました。

15年前、二人の父が時を同じくしてがん治療を受けることとなり、それぞれの生き方を側で見守りました。そのときに家族として経験したことをがん相談に活かせればと思ってきました。患者さんとその家族が安心して療養できるよう支援していきたいと思えます。よろしくお願ひします。

ソーシャルワーカー 福永 佳子

